

# 計画（案）に対する市民意見等の募集（パブリックコメント）の結果

## 意見募集の概要

募集期間：令和3年12月1日（水）から12月28日（火）まで

閲覧窓口：市ホームページ、本庁（環境保全温暖化対策課、行政資料コーナー）、各支所

提出方法：書面（持参、郵送、FAX）、電子申請及び電子メール

## 意見募集の結果

意見提出者 6者

意見等件数 18件

対応区分	対応方針	件数
1	案を修正・追加する。	6
2	案に盛り込まれており、修正しない。	0
3	案は修正しないが、今後の取組において検討又は参考とする。	3
4	検討の結果、案に反映しない。	3
5	その他（質問への回答、状況説明等）	6
合計		18

# 個別のご意見及び市の対応方針等の要旨

No.	ページ	意見要旨	市の考え方	対応方針
1	2	各種関連計画に「長野市地域防災計画」「長野市水防計画」を含めるべきではないでしょうか。	ご指摘の計画のほかにも関連計画は多数あるため、「等」を追記します。	1 案を修正・追加する。
2	5	「気象」の変化は日々の変化を指しますが、ここでは1年間の「気候」について比較しているので、「気象に大きな変化がある」という表現は、「気候に大きな違いが見られる」としてはいかがでしょうか。	「気象」は大気の状態および雨・風・雷など、大気中の諸現象。「気候」は各地における長期にわたる気象（気温・降雨など）の平均状態。（広辞苑第6版より） ここでは市内2地点の年平均気温および年間降水量の違いを述べているので、「気候に大きな違いが見られる」に修正します。	1 案を修正・追加する。
3	5	「夏日」「真夏日」の増加傾向、「冬日」の減少傾向を、「夏日」「真夏日」の日数の増加傾向、「冬日」の日数の減少傾向にしてはいかがでしょうか。	国などの表記にあわせ、「日数の」を追加します。	1 案を修正・追加する。
4	6	図凡例の「線形（年平均気温）」は、回帰曲線のことでしょうか。	お見込みのとおりです。図凡例を「回帰曲線（年平均気温）」に修正しました。	1 案を修正・追加する。
5	10,11	環境基準は「達成する」という表現よりも、「満たす」「下回る」「上回る」という表現の方が適切ではないでしょうか。	環境基本法に基づき国が定めた環境基準については、大気の汚染、水質の汚濁、土壌の汚染及び騒音に関して、人の健康を保護し、生活環境を保全する上で維持することが望ましい基準として定められています。 本市においても、現況を確認する各種の調査の項目、地点、期間などを個別に評価する場合は、環境基準を「満たす」又は「下回る」で表現をしています。一方、長期的な総合評価をする場合は、環境基準の目標値と対比する必要がありますので、「環境基準を達成」又は「環境基準の未達成」と表現しています。	4 検討の結果、案に反映しない。

No.	ページ	意見要旨	市の考え方	対応方針
6	27	<p>計算上の温室効果ガス排出量は提示されていますが、実際の二酸化炭素の濃度について、他の大気汚染物質の濃度と一緒に、実際に測定する必要がありますと考えます。それによって、現状の二酸化炭素の濃度と、その削減過程が明らかになると考えます。</p>	<p>二酸化炭素を始めとする温室効果ガスによる地球温暖化の影響を予測する上で、温室効果ガス濃度の把握は重要です。</p> <p>しかしながら、温室効果ガスの濃度測定は、周辺工場、自動車、森林等からの二酸化炭素の排出や吸収など局所的な影響を受けやすいため、国では南鳥島、与那国島など、影響を受けにくい地点で観測を行っている状況にあり、現時点では、本市において効果的な濃度測定は難しいものと考えております。</p> <p>今後、国では衛星による二酸化炭素濃度の継続観測や大規模排出源の監視などを予定しているとのことですので、本市としても、国の動向に注視しながら、対応してまいります。</p>	4 検討の結果、案に反映しない。
7	29	<p>国では2030年度の温室効果ガス削減目標▲46%（2013年度比）、長野県では温室効果ガス削減目標▲53%（2010年度比）達成に向け、即効性があり、CO2削減の寄与度が高い燃料転換は重要と考えます。</p> <p>「再生可能エネルギー生産量の拡大」の次に「中期の令和12（2030）年度に向けては徹底した省エネルギーに加えて、電化・天然ガスシフト等の燃料転換による低炭素化の取組」を追記してはどうか。</p>	<p>温室効果ガス削減の実現に向け、電化・天然ガスシフト等の燃料転換による低炭素化の取組が必要不可欠であることから、施策テーマ1-3「省エネルギーの推進」として、「低炭素型エネルギーへの転換」に位置付け促進することとしています。</p> <p>なお、「低炭素燃料」について、用語解説に追記いたします。</p>	5 その他

No.	ページ	意見要旨	市の考え方	対応方針	
8	30	<p>国内の消費エネルギーの約6割の熱需要の脱炭素化が重要であり、化石燃料の中でCO2排出量が最も少なく、大きな役割を果たす、需要サイドにおける天然ガス等への燃料転換は重要と考えます。</p> <p>低炭素エネルギーの例示として、「天然ガス等」を追記してはいかがでしょうか。</p>	<p>温室効果ガス削減の実現に向け、電化・天然ガスシフト等の燃料転換による低炭素化の取組が必要不可欠であることから、施策テーマ1-3「省エネルギーの推進」として、「低炭素型エネルギーへの転換」に位置付け促進することとしています。</p> <p>なお、「低炭素エネルギー」について、用語解説に追記いたします。</p>	5	その他
9	30	<p>「○低炭素エネルギー（天然ガス等）への転換」を追記してはいかがでしょうか。</p>	<p>温室効果ガス削減の実現に向け、電化・天然ガスシフト等のエネルギー転換による低炭素化の取組が必要不可欠であることから、「○低炭素エネルギーの導入、普及促進」を追記します。</p>	1	案を修正・追加する。
10	31～48	<p>人類の発展に伴って、エネルギーの使用量が増えるのは当然のことで、脱炭素ではなく、せめて減炭素を目指すべきだと思います。</p>	<p>2050年までに温室効果ガスを実質ゼロとする「脱炭素社会」の構築を目指すことは、世界共通の目標であり、国や県においても、同様の目標としています。本計画では、「脱炭素社会」を2050年までに構築することを目標に、計画期間において、低炭素電力や低炭素燃料への転換を推進していくとしております。</p>	5	その他

No.	ページ	意見要旨	市の考え方	対応方針
11	31～48	<p>各地で発生する大雨による土砂災害は、山を切り崩して太陽光発電用パネルを設置したことが原因ともいわれており、発電効率が悪く、場所を取り、メンテナンスや廃棄に問題のある太陽光発電を進めるのは賛成できません。</p> <p>そういった恐れがあるまま太陽光発電を利用するのではなく、研究開発、安全対策が整ってから事業として進めていくものではないでしょうか。</p>	<p>太陽光発電は、他の再生可能エネルギーに比較し、計画から稼働までの期間が短く、メンテナンスが容易などの利点から、国の第6次エネルギー基本計画で掲げる2030年度までの再生可能エネルギー倍増の主役として期待されています。</p> <p>また、本市では条例を定め、20kW以上の太陽光発電の設置に当たっては、隣接住民等への説明会・届出等の義務を課し、さらに土砂災害警戒区域等における事業については、事前協議を義務付けるなど、各段階で法令遵守等の確認や、地域住民等とのコミュニケーションがなされることで、地域と調和した太陽光発電が設置されることを目指しております。</p>	5 その他
12	31～48	<p>今ある設備の更新や、発電効率がよく安全な新しいエネルギーの開発を優先するべきではないでしょうか。</p>	<p>2050ゼロカーボンを目指すに当たり、技術革新は重要なものと考えています。</p> <p>再生可能エネルギーの導入促進に当たり、新たなエネルギーの開発に、国は多額な基金を投じていくこととしていますので、本市としては、その動向に注視してまいります。</p>	5 その他
13	41	<p>低炭素燃料の例示として、「天然ガス等」を追記してはいかがでしょうか。</p>	<p>温室効果ガス削減の実現に向け、電化・天然ガスシフト等の燃料転換による低炭素化の取組が必要不可欠であることから、施策テーマ1-3「省エネルギーの推進」として、「低炭素燃料への転換」に位置付け促進することとしています。</p> <p>なお、「低炭素燃料」について、用語解説に追記いたします。</p>	5 その他

No.	ページ	意見要旨	市の考え方	対応方針
14	42	<p>熱と電気を組み合わせて発生させ、熱電利用を同時に行うことによりエネルギーを最も効率的に活用することができる方法の一つであるガスコージェネレーションの記述を次のように追記してはいかがでしょうか。</p> <p>「・発電と同時に発生する排熱も活用でき、変動型再生可能エネルギーの調整電源や電力需要のピークカットとしての役割も期待できるガスコージェネレーションの導入を検討し、省エネルギー行動の推進を図ります。」</p>	<p>ガスコージェネレーションは、熱電利用を同時に行うことによりエネルギーを効率的に活用する方法の一つではありますが、現時点では、全市的に取り組むことは、難しいものと考えています。</p> <p>施策テーマ1-3省エネルギーの推進「省エネ機器や次世代自動車の普及促進」で掲げる市の取組（施策）を「・LED照明や省エネルギー家電製品、ガスコージェネレーションなどエネルギー効率の高い製品への転換を促進します。」に修正します。</p>	1 案を修正・追加する。
15	45～47	<p>通勤通学時間帯は慢性的な交通渋滞が発生しているが、市街地に向う自家用車の、ほとんどが一人乗りです。</p> <p>脱炭素社会を目指すため、一人乗りをやめ、勤務先の同僚などと相乗りすることで、CO2排出量は半減されます。</p> <p>また、行政や会社などでクーポン（割引券）を発行するなど、市民の取組を促進する施策があれば良いと思います。</p>	<p>環境負荷に配慮されたまちづくりを計画的に進める観点から、都市計画と交通政策、環境政策が連携して脱炭素型の地域づくりに取り組む必要があります。この取組を推進するに当たり、いただいたご意見を参考にさせていただきます。</p>	3 案は修正しないが、今後の取組において検討又は参考とする。
16	51	<p>「自然災害・沿岸域」の適応策に連携する内容が出てくるため、「総務部危機管理防災課」を追加してはいかがでしょうか。</p>	<p>気候変動に伴う影響への適応策の推進は、関係する課が多岐にわたるため、適応策を取りまとめる「環境保全温暖化対策課」を記載しています。なお、該当分野の取組については、「危機管理防災課」を掲載しています。</p>	4 検討の結果、案に反映しない。

No.	ページ	意見要旨	市の考え方	対応方針
17	61～68	<p>資源ごみが資源に生まれ変わる過程や、何に役立っているのか周知すれば環境問題を考える人が増えるのではないのでしょうか。自分が二酸化炭素をどの程度出しているのか自覚し、ゴミの出し方、減量の仕方の講習会を開くなど一人一人に声が届けば、環境問題に向き合う人が増えると思います。</p>	<p>循環型社会実現のためには、一人一人がごみの排出量を意識し、削減に向けて取り組むことが重要であると考えています。</p> <p>現在、家庭ごみと事業ごみそれぞれの減量・分別について啓発を行っており、特に食品ロスの削減のため、各種の取組を行っています。</p> <p>また、市民一人当たりの年間温室効果ガス排出量、市民一人当たりのごみ総排出量、事業系可燃ごみ排出量を指標とし、これらの「見える化」を行っています。</p> <p>今後も、一人一人に声が届くよう、ホームページ等を活用し、更なる啓発の充実を図ります。</p>	<p>3</p> <p>案は修正しないが、今後の取組において検討又は参考とする。</p>
18	81	<p>県条例による光害規制について追加してはいかがでしょうか。</p>	<p>「長野県良好な生活環境の保全に関する条例」で新たに規定された、サーチライトの使用等による「光害」の防止について、ホームページで広報し、星空環境の保全を働きかけます。</p>	<p>3</p> <p>案は修正しないが、今後の取組において検討又は参考とする。</p>